

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科接着用レジンセメント（70836002）
（歯科用象牙質接着材（42483002））（歯科用エッチング材（36153000））
（歯科セラミックス用接着材料（70815000））

ジーシー エクスペリアセメント

【禁忌・禁止】

- ・メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー、アセトン、エタノールに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状

レジンセメント	ペースト
セルフエッチングプライマー	液
エッチャント	ゲル
セラミックプライマー	液

主成分

レジンセメント	Aペースト：バリウムガラス、メタクリル酸エステル
	Bペースト：バリウムガラス、メタクリル酸エステル
セルフエッチングプライマー	A液：水、アセトン、メタクリル酸エステル、4-メタクリロキシエチルトリメリット酸、リン酸エステルモノマー
	B液：水、エタノール、重合開始材
エッチャント	リン酸、水
セラミックプライマー	プライマーA：エタノール、ビニルシラン
	プライマーB：メタクリル酸エステル、エタノール

色調

<レジンセメント>
ユニバーサル

原理

セルフエッチングプライマーA液とB液を混和し、歯面の前処理を行った後、AペーストとBペーストを練和し、可視光線エネルギー及び化学重合反応により硬化させ、歯質及び根管と補綴物やコアを接着する。

種類

タイプ1（歯との接着性あり）
クラス3（デュアルキュア型レジン）

特性

	品目仕様	参考値
被膜厚さ	50 μm 以下	6 μm
操作時間（23℃）	60 秒以上	2 分 30 秒以上
X線造影性	同じ厚さのアルミニウム以上	適合

（試験方法：ISO 4049 及び社内試験方法による）

【使用目的又は効果】

- 1) 無機質粉末を含むレジン为主体とする材料であり、セラミックス、コンポジットレジン、金属インレーなどの補綴物やコアと、歯牙及び根管との接着に用いる。（医薬品を含まない）

【使用目的又は効果に関する使用上の注意】

- 1) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、留意して使用すること。〔歯質と十分な接着力が得られない場合がある〕
- 2) 仮着材、仮封材を使用した場合は、超音波スケーラー等で機械的に除去すること。〔接着を阻害する可能性がある〕

【使用方法等】

- 1) エッチャントの前準備
エッチャントについて、以下の操作を行って準備します（エッチャントチップは、ディスポーザブルとして取り扱います）。

ウイングキャップ



エッチャントチップ

チップは脱落防止のため、
回しながらしっかりと装着
します。

- ① シリンジ本体を上に向け、ウイングキャップを反時計回りに回しながら外します。
- ② 速やかに、エッチャントチップを時計回りに回しながら装着します。

- 2) 仮封材、暫間補綴物等の除去

通法に従い、仮封材、暫間補綴物等を除去します。その後、仮封材、仮着材がセメント接着面に残留すると十分な接着力が得られませんので、拡大鏡を併用しながら確実に除去します。

- 3) 被着体の表面処理

被着体の材質（セラミック、コンポジットレジン、金属）に応じた、各種表面処理材を使用して表面処理を行います。
（材質がガラス系セラミック、コンポジットレジンの場合）
被着体の被着面を、エタノール等により充分洗浄します。必要に応じてエッチャントを塗布し、30 秒後に水スプレーにより 5 秒間充分に洗浄し、エアーで乾燥します。次に、採取皿にセラミックプライマーのA液とB液を等量採取、混和し、ディスポーザブルアプリーケーターで被着体の被着面に塗布し、エアーで乾燥します。必要に応じて、被着体の非接着面にワセリン等の分離材を塗布し、セメントの付着を防止します。

- 4) エッチャントによるエナメル質のエッチング処理

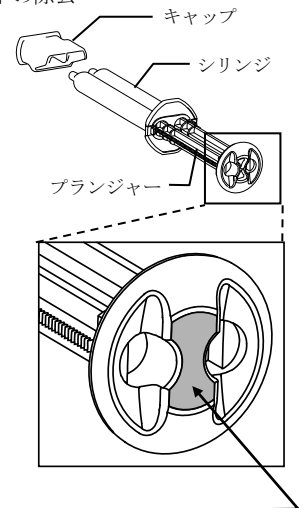
症例に応じてエナメルエッチングを行う場合は、シリンジから直接エナメル質マージン部にエッチャントを塗布し、10 秒間エッチングします。その後、バキュームで吸引しながら、水スプレーで 5 秒間充分に洗浄し、エアーで乾燥します。

- 5) セルフエッチングプライマーによる歯面の処理

セルフエッチングプライマーのA液とB液を等量、清浄な採取皿に滴下し、ディスポーザブルアプリーケーターを用いて充分に混和します。混和した液をエナメル質、象牙質双方に塗布し、20 秒間放置後、バキュームで吸引しながら、中圧～強圧エアーで乾燥します。

- 6) セメントの塗布、余剰セメントの除去

プランジャー後端の中心部を押し込んで、付属の練和紙上にレジンセメントのAペーストとBペーストを等量押し出した後、シリンジを立てるようにしてすり切ります。プラスチックヘラを用いて充分に練和します。練和したペーストを、1 分以内に被着体の被着面に塗布し、被着体を歯面に圧接します。この時、歯面にはセメントを塗布しないでください。余剰セメントは、硬化する前に除去します。口腔内に装着してから 1 分後、余剰セメントに 1～2 秒程度の光照射を行って仮重合させるか、口腔内装着後 2 分～3 分の間で半硬化させると、探針等により容易に除去できます。



プランジャー中心部を
押し込みます。

7) セメントの最終硬化

セメントの最終硬化は、口腔内に被着体セット後 6 分間保持します。被着体が光透過性であり、セメント層まで充分光が到達する場合には、光照射により硬化が可能です。光硬化の目安は、ハロゲン^{*1}では各方向から 20 秒、LED^{*2}では各方向から 10 秒ずつ、キセノン^{*3}では各方向から 6 秒ずつ(3 秒×2 回)にて行います。

※1 ハロゲン：

コービー等ハロゲンランプを採用した歯科用可視光線照射器。

※2 LED：

G-ライト等 LED を採用した歯科用可視光線照射器。ただし他社の LED を使用する場合は、光照射能力が異なる場合があることから、ご使用になる光照射器の照射能力を確認のうえ使用します。

G-ライト プリマ、G-ライト プリマⅡの F モードは、キセノンの照射時間で行います。

※3 キセノン：

フリッポ等キセノンランプを採用した歯科用可視光線照射器。

8) 仕上げ

重合後の余剰セメントは、拡大鏡を併用しながらダイヤモンドバーや探針等を用いて除去します。その後、通法に従い、咬合調整、仕上げ研磨を行います。

[使用方法に関連する使用上の注意]

1) エッチャントチップに関する注意

- ① エッチャントチップは、オートクレーブ・ケミクレーブにはかけられないので注意すること。アルコールを多く含んだワッテ等で洗浄すると、エッチャントチップ先端からアルコールが浸入し、内容物を変質させる恐れがあります。アルコールワッテ等を使用して洗浄する場合は、余分なアルコールを絞ってから行うこと。
- ② エッチャントを口腔内でシリンジから直接塗布した場合、エッチャントチップはディスプレイザブル扱いとすること。[唾液等による汚染の可能性あり]
- ③ エッチャントチップ装着時は、ゲルがシリンジとの嵌合部に付着していると、使用時にチップが抜け落ちることがあるので、ゲルの付着がないことを確認すること。
- ④ エッチャントチップを使用する際は、患者及び術者は保護眼鏡を使用すること。[目を痛める可能性がある]
- ⑤ エッチャントチップを使用する際は、確実にシリンジに装着したことを確認すること。
- ⑥ エッチャントチップ内の空気を追い出し、ペーストへの気泡の混入を防ぐために、使用する前に必ず口腔外に於いて、先端を上方向に向けて、ペーストがエッチャントチップ口元にくるまでゆっくりプランジャーを押すこと。またこの時、臨床使用時のエッチャントチップの脱落を防ぐために、エッチャントチップの緩みや脱落がないことを確認すること。

2) エッチャントに関する注意

- ① 露髄部分や歯髄に著しく近接した症例では、水酸化カルシウム製剤等により覆髄処理されていることを確認してから使用すること。覆髄処理されていない場合は、覆髄処理を行ってから使用すること。
- ② 強い力で急激に押し出すと、ペーストが必要以上に飛び出る恐れがあるので、ゆっくりと押し出すこと。もし、動きが悪い場合は、押し出し操作を中止してエッチャントチップを外し、直接シリンジからペーストを押し出して、ペーストの増粘の有無を確認すること。増粘している場合は直ちに使用を中止し、新しいエッチャントチップを使用すること。増粘していない場合は、新しいエッチャントチップを装着して使用すること。
- ③ エッチングした面に、唾液などにより汚染された場合は、水洗、乾燥を行うこと。[硬化・接着を阻害する可能性がある]
- ④ 使用後はエッチャントチップを外して、ウイングキャップを取り付けて保管すること。エッチャントチップを取り付けたまま放置すると、水分が揮発しペーストが増粘して固くなります。
- ⑤ エッチャントで洗浄した被着体の被着面を手で触るなどして汚染した場合は、再度エッチングを行うこと。[硬化・接着を阻害する可能性がある]

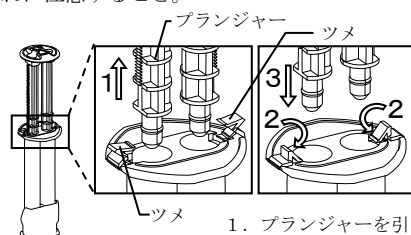
3) セラミックプライマーに関する注意

- ① セラミックプライマー塗布時に、使用するアプリケーション等が口腔内に落下しないよう確実に把持すること。
- ② セラミックプライマーに用いるアプリケーション等は専用とし、他の製品と混用しないこと。
- ③ セラミックプライマーは揮発成分を含有するため、適用時は鼻呼吸するよう患者を指導すること。

- ④ セラミックプライマーを塗布した面を手で触るなどして汚染された場合は、再度洗浄して処理を行うこと。[硬化・接着を阻害する可能性がある]

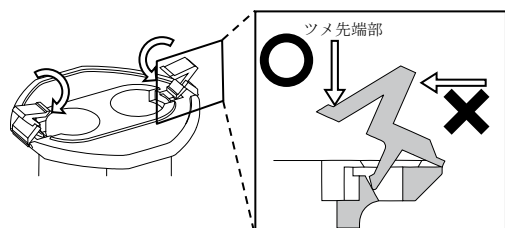
4) レジンセメントに関する注意

- ① 露髄部分や歯髄に著しく近接した症例では、水酸化カルシウム製剤等により覆髄処理されていることを確認してから使用すること。覆髄処理されていない場合は、覆髄処理を行ってから使用すること。
- ② セルフエッチングプライマーは揮発成分を含むことから、塗布直前に採取皿等に採取し、採取後 3 分以内に塗布すること。
- ③ セルフエッチングプライマーは揮発成分を含有するため、適用時は鼻呼吸するよう患者を指導すること。
- ④ 本材が、患部以外の部分に付着しないように充分注意すること。本材が、歯肉、口唇など粘膜面に付着すると炎症(白変、水疱など)を生じることがあるため、ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること(ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします)。万一、歯肉などに付着した場合には、すぐに綿球で拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。炎症(白変、水疱など)が生じた場合でも、これは一過性の現象であり短期間(1~2 週間)で回復することから、炎症(白変、水疱など)を起こした部位には、ブラッシングなどの物理的刺激を与えないように患者へ説明を行うこと。
- ⑤ セルフエッチングプライマー塗布時に、使用するアプリケーション等が口腔内に落下しないよう確実に把持すること。
- ⑥ 万一、セルフエッチングプライマーを塗布後、水洗してしまったり、唾液や血液がついてしまった場合には、再度水洗から処理を行うこと。[硬化・接着を阻害する可能性がある]
- ⑦ セルフエッチングプライマー塗布面のエアブローが不十分な場合には、十分な接着力が発揮されないことがあるので注意すること。
- ⑧ エアブロー時は、歯肉溝や接触点部に液溜りがないように、中圧~強圧で充分に行うこと。
- ⑨ 光硬化により余剰セメントを除去する場合は、補綴修復物内部のセメントの硬化が完了していないことがあるので、補綴修復物に過剰な力がかからないよう注意すること。余剰セメント除去時は、補綴物を押さえながら補綴物装着方向に向けて力が加わるように、余剰セメントを除去することをおすすめします。
- ⑩ 光照射による仮重合で余剰セメントを除去する場合、硬化させすぎると除去しにくくなるので、光を当てすぎないこと。
- ⑪ 無影灯の光により操作余裕時間が短くなるので、補綴修復物を口腔内にセットする際は、必要に応じて无影灯を減光する、または消すこと。
- ⑫ ペースト及び練和物は光により硬化するので、採取後はできるだけ早く使用すること。
- ⑬ 光強度の弱い照射器を使用した場合、十分な硬化が得られないことがあるので、光強度の強い照射器を使用すること。
- ⑭ 適切な比率でペーストを採取するために、シリンジのプランジャー(押し棒)後端の中央部を押すこと。
- ⑮ 初めて、あるいは期間をおいてご使用になるシリンジは、ノズル先端に空気が内在する場合があるので、最初の 1 回目の押し出しで左右のペーストの先端を合わせる。
- ⑯ 正しい計量のために、シリンジのノズルにペーストが付着した場合は、ガーゼなどで拭き取る。
- ⑰ 本材は、常温(15~25℃)での使用を基本とすること。室温が高くなると操作余裕時間が短く、室温が低くなると長くなるので注意すること。
- ⑱ プランジャー(押し棒)を引き戻すと、左右のツメが外れてしまうので、引き戻さないこと。(万一ツメが外れても、シリンジは問題なく使用(ペースト押し出し)できます。)左右のツメが外れた場合、次の手順でツメを再セットできます。
- ⑲ 光照射時の初期硬化性及び接着性は、可視光線照射器の照射能力に依存するので、ランプの劣化、ファイバーロッドの汚れに注意すること。



1. プランジャーを引き抜く。
2. 左右のツメを折り込む。
3. 最後にプランジャーを押し込む。

外れたツメを折り込む際、ツメ部分が壊れてしまうことがあるため、下図のようにツメ先端部を押して折り込んでください。（万一ツメが破損して取れた場合でも、シリンジは問題なく使用（ペースト押し出し）できます。）



ツメ部分を折り込む際に押す部位及び方向

【使用上の注意】

1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。

2) 重要な基本的注意

- ①本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- ②本材との接触による過敏症状の予防のため、使用に際しては、プラスチック手袋、ゴム手袋等を使用し、適切な防護処置を行うこと。特に、未硬化物との接触は避けること。
- ③本材が、口腔粘膜、皮膚などに付着しないよう充分注意すること。特にセメント、セルフエッチングプライマーが歯肉、口唇など粘膜面に付着すると炎症（白変、水疱など）を生じることがあるため、ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること（ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部位については、コアパターなどを塗布することをお勧めします）。口腔粘膜に付着した場合にはすぐに綿球などで拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。また、皮膚に付着した場合にはすぐに石鹸で洗浄すること。万一、目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けること。
- ④エッチャントは腐食性を有するので、充分注意すること。
- ⑤セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーの蒸気を多量に吸入すると、頭痛等が発症する恐れがあるので、使用する際は適切な換気（1時間あたり数回の換気）がなされている場所で使用すること。また多量の蒸気を吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移動すること。
- ⑥セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーは可燃性のため、火気の近くでの使用を避け、適切な換気がなされている場所で使用すること。
- ⑦セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーは、ノズルに液が付着した場合、拭き取ってからキャップを装着すること。また、ノズルが破損する場合があるので、キャップ装着時はまっすぐに装着してから締めること。
- ⑧他の製品のプライマー、ボンディング材、セメントとの混用は行わないこと。
- ⑨セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーは揮発成分を含むため、採取後は速やかに使用すること。
- ⑩セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーは揮発成分を含んでいるので、採取後はすぐに容器を密栓すること。
- ⑪セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーに用いるディスポーザブルアプリーケーターは専用とし、他の製品と混用しないこと。
- ⑫ディスポーザブルアプリーケーターに異物が付着していないことを確認すること。
- ⑬光照射の際は保護眼鏡などを使用し、照射光を直視しないこと。[目を痛める可能性がある]
- ⑭本材が衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
- ⑮本材を使用した硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。

- ⑯本材を、高温となる場所（ストーブの側、直射日光が当たる場所等）に放置しないこと。[製品が劣化する可能性がある]
- ⑰レジンセメント、セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーを火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床上、機器類などに付着したときは、すぐに乾いた布で良く拭き取ること。
- ⑱レジンセメント及びセルフエッチングプライマーは要冷蔵保管製品ですが、使用時は、室温に戻してから使用すること。またエッチャントを冷蔵庫で保管した場合、室温に戻してから使用すること。
- ⑲開封後は、できるだけすみやかに使用すること。
- ⑳エッチャントチップはディスポーザブルタイプのため、繰り返し使用しないこと。[唾液等による汚染の可能性がある]
- ㉑採取後のレジンセメント、セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーは、使用時の感染防止のため、患者間の交差使用は避けること。[唾液等による汚染の可能性がある]
- ㉒同一のエッチャントチップで、患者間の交差使用は行わないこと。[唾液等による汚染の可能性がある]
- ㉓セルフエッチングプライマー、セラミックプライマーは引火性を有することから、使い切ってから廃棄すること。
- ㉔本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
- ㉕本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ㉖本材については、試験によるMR安全性評価を実施していない。（自己認証による）*

3) 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

(1) [併用禁忌]（使用しないこと）

- ①ユージノール系製剤は、併用しないこと。[硬化・接着を阻害する可能性がある]
- ②過酸化水素は、併用しないこと。[硬化・接着を阻害する可能性がある]
- ③レジンセメントの根管への填入には、レントロを使用しないこと。[硬化が過剰に促進される可能性がある]

(2) [併用注意]（使用に注意すること）

- ①エアースリッジ等を使用して歯面の乾燥及びセルフエッチングプライマー、セラミックプライマー塗布面のエアブローを行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。[硬化・接着を阻害する可能性がある]
- ②セルフエッチングプライマーは必ず使用すること。[接着力を向上させる]

4) 不具合・有害事象

[有害事象]

(1) その他の有害事象

- ①セメント、セルフエッチングプライマーの口腔粘膜などへの付着により、白変、発赤、びらん、水疱、などの過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本材は冷蔵庫に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。（セラミックプライマー、エッチャントは冷暗所保管（4〜25℃）可能）
- ・使用及び保管場所には、消火装置を備える。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。
- ・硬化不良が発生する恐れがあることから、過酸化水素水に隣接した場所は避けて保管する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限*までに使用する。

※（例 EXP. 2028-06は

使用期限2028年 6月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー
住所 : 〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目2番14号
電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480